

キズナの森づくり ワークショップ通信

in 刈谷田川防災公園

✉ vol.2

H20～21年度で検討した「刈谷田川防災公園整備構想」に描かれている「森と散策ゾーン」を中心としたエリアの具体的な整備、活用、管理などの計画をしています。公募による市民ワークショップを立ち上げ、「地域と深いキズナを持てる森」の実現にむけた検討をしています。



第2回キズナの森づくりWS※

平成22年9月15日(水) / 中之島公民館
※WS=ワークショップの略

概要 まずはじめに、第1回WSのふりかえりと、「いいやま記念の森」視察研修の様子について報告がありました。

第1回WSでは、森と散策ゾーンの基礎となる築山の高さや傾斜について活発に議論されましたが、なかなか立体的な把握が難しいことから、簡略化した模型を用意して、検討の参考にしてもらいました。

今回のWSの結果、引き続き活発な検討が行われ、「キズナの森」のおおまかな整備イメージが見えてきました。



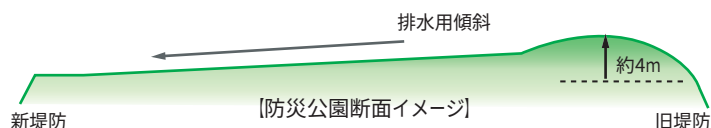
◆=委員さんの発言です

築山の高さや形状など、
まず基礎となる部分を決めよう！

●高さや形について……………

【前提確認】

原案では、新堤防から見ると築山は広場から約2m程度高くなるが、旧堤防側からでは約4mの高さになる



- ◆山(起伏)の数や形は、使い方を明確にしてから検討すべき。
- ◆大きめの山が1つあれば、スキーも楽しめる。
- ◆高いところ、低いところがあるほうがいい。
- ◆旧堤防の高さから4mの斜面を造成し、さらに樹木を植えるとかなりの威圧感を感じるのではないかな。
- ◆すべての部分が4、5mになると住民から苦情が出るのでは。
- ◆5m程度が高さの上限だと思う。

●近隣住宅への配慮を……………

- ◆旧堤防下の住宅からの見え方にも注意を払うべき。
- ◆日当たりや洗濯物への影響も考慮すべき。
- ◆ライトアップする場合の影響も考えておく必要がある。
- ◆今までは中之島まで見通せた風景が、今度は樹木や斜面の花が見えるようになるという変化をどう思うだろうか。
- ◆キレイに整備されていれば、住宅の窓から素晴らしい風景が見えるのでは。桜の季節は最高である。
- ◆住宅のある部分はあまり高くしない計画になっている。高くなるのは保育園のあたり。園児は喜ぶと思う。
- ◆実際に住民の方に説明して、了解をいただく必要がある。

●旧堤防側の排水が心配……………

- ◆旧堤防側への排水が心配。4、5mの高さから流れる水の勢いはすごい。豪雨のことも考慮して排水の整備をして欲しい。
→ (新潟県) 十分対応できる排水溝の整備をする予定。



およそ1/50のスケールです
同じ縮尺の親子の人形をおいてあるので、
大きさや傾斜がイメージできると思います

●植樹するための課題は?.....

- ◆参加者を募集して植樹祭をするのは良いが、枯れてしまうケースも多いので心配。
- ◆樹木の里親制度は、かなりの気配りが必要になる。
- ◆宝くじの桜の苗のうち、枯れた時用の補充として20本くらいの予備をストックしてはどうか。
- ◆ある程度の太さになるまで見栄えがしないことを考慮すべき。
- ◆各家庭で5年ほど育ててもらい、公園に移植するというアイデアはどうか?

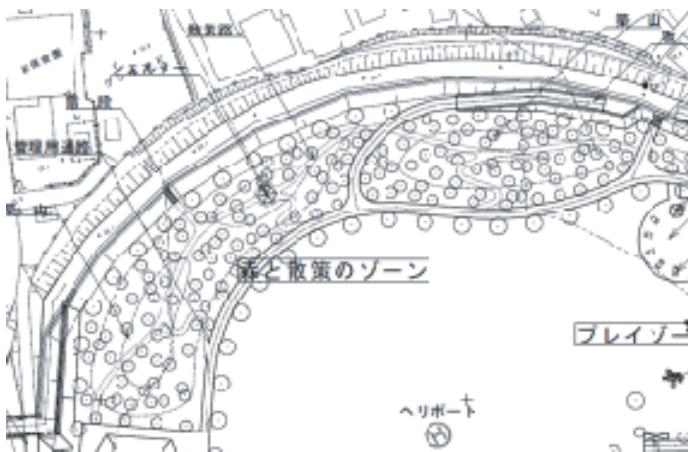


散策道のコースと 植樹の方法について考えよう

●散策道と管理道路はどこを通る?.....

【前提確認】

樹木の害虫予防が管理用道路の主な使い方で、①旧堤防側、②築山の真ん中、③広場側、と3パターンの設置位置が考えられる。



(例として用意した図案の一部)

- ◆管理用道路は、両側を一度に管理できるという点で、真ん中にあるほうがいいので。
- ◆広場側に1本あれば、旧堤防側と両側から管理できる。
- ◆散策路を兼ねた管理用道路、というのはどうか?
- ◆管理用道路は車椅子でも通れるので、バリアフリー対応の散策路兼管理用道路、にすれば良いと思う。

その他、隣接する バーベキュー広場について



●どのようにバーベキュー広場を利用するか?.....

- ◆ほとんどの人は道具やテントを持っているので、常設のコンロやシェルターを設置する必要はないのでは。
- ◆水をタンクに入れて持参する人も多い。
- ◆子供会や学校行事などで利用する場合は、ある程度の常設の設備が必要になる。
- ◆トイレと水場がキレイであれば、口コミで利用者が増えるのではないか。
- ◆防災公園なので、非常時に炊き出しができる、という機能は備えるべき。



●ハードのことよりソフトが大事なのは?!……………

- ◆中之島には公園が25ヶ所くらいあるが、いつも住民でいっぱいという公園は少ない。活用のしかけがなければ、この公園もすぐ使われなくなる。
- ◆ハードのことばかりを考えているが、どう使うか、というソフトのことも考えないと整備予算を無駄に使うことになってしまう。



第3回キズナの森づくりWS※

平成22年10月20日(水)／中之島公民館
※WS=ワークショップの略

概要 第2回WSまでは、森と散策ゾーンの設計について検討しましたが、今回からは維持管理がテーマとなります。11月20日は桜の苗の植樹イベントがあります。その時点から維持管理がはじまり、その次には雑木林をどうつくっていくかという課題があります。第3回WSでは、そのような具体的な話題からはじまり、住民による維持管理組織づくりについて、大いに活発な議論が行われました。



桜の植樹は住民に配慮を!
雑木はドングリ拾いからはじめよう!

●桜の植樹について気をつけることは?……………

【前提確認】

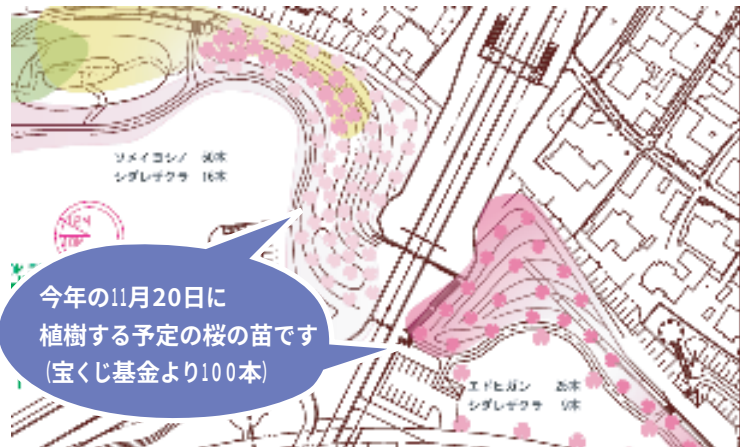
植樹後の管理は地域参加で行う。必要となる管理は水やりと害虫駆除など。冬囲いは業者さんに依頼済みである。

- ◆高さ2mくらいの苗であれば、よく手入れされている桜でも見栄えのする花がつくまでに5年にかかる。
- ◆桜の木のためだけでなく、アレルギーのことも考慮して害虫駆除をしっかりとやるべき。毛虫の毛が飛んできてアレルギーを起こす場合がある。
- ◆夜遅くまで花見をすると近所迷惑になるので、ある程度、住宅から離して植えたほうが良い。



第2回ワークショップ 結果のまとめ

- ◆築山の高さ、形状については近隣住民の意見を聞き、了解を得る必要がある。
- ◆管理用通路はバリアフリー園路と兼用し、広場側に配置する。
- ◆築山の高さは5mを上限とし、高いところ、低いところをつくる。
- ◆詳細の設計については、事務局、設計業者に任せる。
- ◆次回のWSでは、公園をどう使うか、どう管理するか、というソフトを中心に検討する。



●雑木林づくりも今年からはじめよう!!……………

- ◆雑木林をつくるために、今のうちからドングリを集めてきてポットに植え、苗を育てておくというのはどうか?
- ◆そうであれば、今年中にドングリを採って、ポットに植えるところまでやりたい。来年になると森づくりが1年遅れてしまう。
- ◆今年から始めて、3年後に植樹会ができるようにしたい。近所の保育園の園児と一緒にやってはどうか?





●いずれ必要ならNPO法人を目指そう！……………

- ◆NPOなどの法人化も検討したい。いずれ必要になる。
- ◆活動するにはお金が必要。NPO法人化して、自分たちも汗をかきながら、行政のほうからも支援してもらいたい。
- ◆将来的には、とは言わず、一歩でも早くNPOをつくるべき。
- ◆NPO法人を設立するために、県で橋渡しまでして欲しい。
- ◆このワークショップメンバーのほかにも参加したいという人は多いはずなので、NPOが受け皿になればよい。
- ◆最初はメンバーの出入りもあると思うが、出たり入ったりとゆるい感じで、2年先にはイベントができるようなNPOにしたい。

皆さん!!
維持管理や活用のための
住民組織をつくりませんか?!



賛成です!!

絶対
そうすべき!!

そうしないと
意味がない!!

賛成!!

大賛成です!!



第3回ワークショップ 結果のまとめ

- ◆桜は極力、住宅の近くに植えないようにする。出来るところから維持管理に市民が参加する。
- ◆雑木林づくりは少しでも早く活動するために、ドングリ拾いからはじめる。
- ◆NPO法人化を目指した中之島、今町の住民組織をつくる。
- ◆市民組織づくりは委員の皆さんが賛成。11月20日の植樹会前に設立準備会(11月17日)を立ち上げる。



公園の維持管理や 活用のために住民組織をつくらう!

●苗を植えたところから維持管理がはじまる……………

- ◆桜を植えると、もう来年から管理が始まることになる。草刈や水やりが必要なので、すぐにでも団体を立ち上げるべき。
- ◆現状ではそれぞれの市が維持管理を業者に頼むしかなくなる。しかし、住民組織があると両方の市から維持管理をお願いすることができるのでは。
- ◆樹木はだいたい春植えか秋植えが基本。次の植樹のタイミングまで待てられないので、桜の害虫防除などを体験事業として、地域の人々に参加してもらいたい。

●住民の声を運営に活かせる団体を……………

- ◆フリーマーケットや音楽祭など様々な意見が出ているが、このワークショップの中だけではとても決められない。そのようなことを話し合える団体を設立すべき。
- ◆いろいろな情報を集め、住民の声を聞きながら、住民参加型のイベントをしたり、維持管理をする団体の設立を。
- ◆中之島、今町が一体となった団体をつくる必要がある。
- ◆管理運営する住民組織をつくらないと、いずれ活用されなくなると思う。

【事務局】 新潟県長岡地域振興局 地域整備部計画調整課 「キズナの森づくり」担当
〒940-8567 長岡市四郎丸町173番地2 電話:0258-38-2614 FAX:0258-38-2676
【編集】 NPO法人地域交流センター

 **新潟県**
NIIGATA PREFECTURE

刈谷田川防災公園の詳細内容はコチラ

長岡地域振興局HP http://www.pref.niigata.lg.jp/nagaoka_seibi/

刈谷田川利活用

検索

このキーワードでインターネット検索してください